

INFO 1

ぺこぺこのはたけ

春のご挨拶

春は旅立ちとともに新しい門出を迎える季節!新たな環境に身を置いた方も多いのではないのでしょうか?ぺこぺこのはたけも今年度より新篠津高等養護学校の卒業生や北海道医療大学在学中の学生アルバイトのスタッフを新しく迎え入れることとなりました!そんな春を迎えるにあたって、ぺこぺこのはたけの5月の小鉢御膳も春の訪れを告げる、風味豊かな山菜「ヤチブキ」が春の香りを感じさせます。今年度も皆さまに旬の野菜をふんだんに使った美味しい料理をお届けできるよう、新しいスタッフとともに歩んでいきたいと思っておりますので、お出かけの際にはぜひともお立ち寄りくださいませ。



5月の小鉢御膳

ぺこぺこのはたけ
TEL 0133-27-6440

INFO 2

北海道の米と汁 U-gohan 東大正門

活気が戻って参りました!

コロナによる大学側の制限も無くなり、大学職員や学生さん、近隣の方にもたくさんご利用していただけるようになりました。1日に準備するメニューの数も増やしていますので、ピークタイムを過ぎた後も選べるようなメニュー組みにしています。また、講演会等の集まりも増えてきて、ケータリングも多く問い合わせをいただいております。

野菜を使ったメニューが人気なので、これからの季節は、季節の野菜を使ったメニューや、辛いメニューなど、毎日来てくださるお客様も飽きないような新メニューを出していきたいと思っております。お近くにお越しの際はぜひご来店ください。写真は先日行われた、学園祭の様子です。雨でしたが、多くの人出でした!



ザンキ弁当



INFO 3

Pâtisserie Ruelle 営業時間延長のご案内と開店4周年のご挨拶

4月より、金曜日と土曜日の営業時間が11時から19時までとなりました。より多くの方にご利用いただけるお店を目指してまいります。

おかげさまで、7月13日には4周年を迎えます。4周年を記念して、今年も「シュークリーム祭り」の開催を予定しています。「シュークリーム祭り」限定のフレーバーもごございますので、お気に入りのフレーバーを見つけてみてはいかがでしょうか。

今まで焼き菓子は利用者の皆さんと共に製造しておりましたが、最近は接客にも少しずつ挑戦しております。スタッフ一同、日々精進してまいりますので、4年目もご愛顧くださいますよう、よろしくお願いたします。



●営業時間
火曜日~木曜日 11:00~15:00
金曜日・土曜日・祝日 11:00~19:00

Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからの寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

●社会福祉法人への寄付について

1 個人の場合 2 法人の場合 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除または税額控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<https://yu-yu.or.jp/contact/>



皆さまから頂いた多大なるご厚志のお陰で、昨年より税額控除対象法人となりました。

令和4年度は、38件、2,582,403円のご寄付を賜りました。皆様から賜りました寄付金や物品は、担い手の育成やインフォーマルな仕組みづくり、地域の文化を継承する取り組み等に活用させていただきます。心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



ゆうゆうの今を伝える広報紙



ファミサポ交流会
撮影:工藤了



YOU YOU MAGAZINE 2023 SPRING

デザイン/株式会社ブリオンデ 山崎啓太郎 発行/社会福祉法人ゆうゆう事務局 広報 tel:0133-22-2896 mail:info@yu-yu.or.jp

2023 / 5 SPRING

理事長メッセージ

YOU YOU MAGAZINE 創刊4年目を迎えます

社会福祉法人 ゆうゆう 理事長 大原 裕介

四季折々に皆様のお手元にお届けするYOU YOU MAGAZINEも気がつけば、創刊4年目を迎えました。SNSでの発信に溢れるなかで、すっかりと「紙もの」の媒体の存在は薄くなっていく一方です。ですが、「紙もの」だからこそ、「温もり」をお伝えできると、思っています。日々起きている「温もり」を感じていただけるよう誌面は限られますが、しっかりと紹介し発信していきたいと思っています。

新型コロナウイルスに翻弄された3年間でしたが、少しずつ日常を取り戻しています。自粛や規制のなかで、制限あるサービスを余儀なくされていた現場の利用者やスタッフから、少しだけ自由になった日常の「好きな場所へ出かける」「地域の人とイベントを実施したい」などの相談や報告を聞くことが何よりも嬉しいです。まだまだ、油断はできませんが、これまでの窮屈な日常

に彩を添えていきたいと考えています。

一方、物価高騰は、縮小することなく私たちの暮らしに大きな負担としてのしかかっています。社会福祉事業のエネルギーのコスト負担、就労支援事業等の仕入れ負担など、経営に与える影響は想像以上に大きく、これから増大化する報道、毎月高騰していく請求書を目の当たりにするたびに気が滅入ります。

色々な苦勞を抱えている子どもたちの学校でも家庭でもない、第3の居場所をつくり、地域の方々とともにサポートしていく事業を苫小牧市で6月から始動させます。人口減少が著しく、高齢化率も45%、このままでは存続すら危ぶまれる3,000人規模のまち、「和寒町」で、福祉事業を基軸とした持続可能なまちづくりのあり方について実践的な提案をしていく研究事業に

着手します。

日々の実践と新たな取り組みを、自分たちができる精一杯を、1日1日積み重ねていきたいと思っています。

YOU YOU MAGAZINEでもお知らせした「寄付」ですが、多くの方々からたくさんのご寄付をいただきました。ずっと応援してくれていた保護者の方々、ゆうゆうの取り組みに共感しファンでいてくださる関係者の方々の温かいお気持ちは何よりも励みになりました。

皆様からのエールで支えられている1日の一端をYOU YOU MAGAZINEでご報告していきます。今後とも変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。



わいわいがやがやゆうゆう塾！

4月から新しいメンバーで取り組んでいる「ゆうゆう塾」。4月から場所も変わり水曜日は共生型地域福祉ターミナル、木曜日はぺこぺこのはたけにて、当別町、新篠津村の小学2年生から高校3年生までの子どもたちが参加しています。子どもたちが放課後拠点に到着すると、思い思いに過ごします。「勉強してから遊ぼうね!」とすかさず声をかけるのは、北海道医療大学の学生などのボランティアさん。たよりにしています。

ターミナルでは、貸館を利用している地域の方と同じスペースで過ごすため、さまざまな交流が生まれています。ぺこぺのはたけでは、レストランで働いている障がいのあるスタッフをはじめ働く大人に子どもたちは興味津々。「お名前なんですか?」と聞いて回る子どもの猛アタックにスタッフが照れながら応じるやりとりも。

さらに今年は嬉しいことに、これまで長く来ていた高校生が「ボランティアで参加したい」と子どもたちに寄り添ってくれるようになりました。

平成28年の事業開始より、大人になっていく成長の様子を身近に感じさせてもらい、地域の子育ての一旦を担わせてもらっている事業です。楽しそう!何かやってみたい!と思った皆さん、どうぞ遊びに来てくださいね。

(問い合わせ先:共生型地域福祉ターミナル 担当:鈴木、辻榮)



「想いをかたちに」ヘルパーステーションajisai

通学や居宅サービスを利用している中学生のHさん。野球が大好きで、「プロ野球スピリッツA(以下プロスピ)」というオンラインの野球ゲームをしていました。ajisai職員の中にも、プロスピをしていた職員がいたり、新たに始める職員も増えてきたある日、「プロスピの大会を開きたい」とHさんが提案してくれました。大会の参加者にはHさんのご家族や、ajisaiのサービスを利用している大学生の利用者もいます。大会は年に3回開催され、大会を重ねると、中学生のHさんと大学生のSさんがLINEで連絡するようになりました。ある日、Hさんから、「実際にSさんへ会ってみたい!」という希望があり、直接、Sさんに会いに行くことに。今までLINEでは話をしていましたが、実際には初対面のお二人。始めはぎこちない雰囲気でしたが、ゲームで対戦すると一気に打ち解け、和気あいあいと会話していたのが印象的でした。次回会えるのをお互いに楽しみにされており、ご家族からも「本人の自信になったと思います」と話がありました。



私たちの仕事は、「やりたい」、「会いたい」というあたりまえの想いや経験を支えることだと、改めて勉強させていただく機会になりました。

新入職員紹介

新卒採用職員



酒井 美結

所属:生活介護事業所よきによき生活支援員、調査研究事業担当
出身校:立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科

ひとりの想いを文化にするという理念、今の当たり前を支え、次の当たり前をつくる実践に惹かれ、千葉からやってきました。目の前の一人ひとりに丁寧に向き合い、日々を大切にしていきたいと思えます。これからよろしくお願いいたします。

新卒採用職員



岡崎 奈津

所属:生活介護事業所よるのに生活支援員
出身校:大阪芸術大学芸術学部芸術計画学科

大学でイベントに必要な準備や運営について学ぶ中で、ゆうゆうの様々な領域を越えた取り組みに興味を持ち、大阪から来ました。利用者みなさまの毎日がより良く、より楽しくなるような支援を身につけたいです。よろしくお願いいたします!

中途採用職員



平 竜二

所属:共同生活援助事業所ゆうゆうのいえ生活支援員

目の前の利用者さんに最後まで寄り添いたいと考え、ゆうゆうに就職することを決めました。私の夢は共生社会の実現です。上手くいかないこともありますが、壁を乗り越えながら成長し続けたいです。これからよろしくお願いいたします。

中途採用職員



中内 聡

所属:放課後等デイサービスセンターkaede 児童指導員

前職でも10年以上放課後等デイサービスで働いていました。利用者さんと関わるのが大好きです。ゆうゆうの理念を大切にしながら、利用者さんが地域でよりよい暮らしが出来るために何が必要か一緒に考え実践していきたいです。

中途採用職員



高橋 健

所属:苫小牧市東開文化交流サロン 子ども第三の居場所担当

20年程前に教員としてゆうゆうと出会い、今は職員として働いていることに大きな喜びを感じています。当時の教え子の皆さんの多くはゆうゆうで働いており、私の先輩となりました。ご縁に感謝し、一生懸命頑張ります。

中途採用職員



後藤 愛代

所属:当別町障がい者総合相談支援センター nanakamado担当、調査研究事業担当

病院勤めが長かった分、これからは様々な枠組みを超えて、色々な方達と身近に関わり、その方たちの生活に触れ、人生に触れて、支えたり支えられたり、たくさんの方の想いや感情を共有しながら、もっともっと人間くさい仕事をしたいと思っています。

インターンシップ生



渡邊 祐樹

所属:ヘルパーステーションajisai介助員 所属大学:北海道医療大学

学部時代からアルバイトをしていましたが、今年度は大学院で学びながらインターンシップ生としてより経験を積みたいと考えています。学業と支援の気づきを双方に活かし、利用者さんの一人ひとりの想いや生活に寄り添った支援を目指していきます。



ぺこちゃんイベント再開のお知らせ

昨年度までは、ぺこぺこのはたけでのイベントもコロナ禍において自粛を迫られておりましたが、地域ボランティアの方々(サポートクラブぺこちゃん)ご協力のもと、2月に「ぺこちゃん雪まつり」を無事開催いたしました。当日のイベントではスタッフを含め、100名近くの方がイベントに参加してくださいました。事前に近隣の小学校や保育園にチラシを配布していたこともあり、多くの子どもたちが雪のすべり台や餅まきを楽しんでいました。今年度は、行動制限が解除されたことをふまえ、ぺこぺこのはたけでのイベントも定期的に開催する予定です!今年度最初のイベントは、5月27日、毎年夏場にかけて収穫される野菜の種まきです!夏には夏まつり、秋には収穫祭を予定しております。ご都合がよろしければ、ぜひともお気軽にご参加ください!



ファミサポ交流会 うさぎのフラワーアレンジ

ファミリーサポート(略称:ファミサポ)は、子どもを見てもらいたい人(利用会員)と、子どもを預かることができる人(協力会員)を繋いで、地域で子育てを助け合う仕組みです。5月12日に実施したファミサポ交流会では、うさぎのフラワーアレンジを行い、4組の親子(10名)が参加しました。お母さんが作業している間、子どもたちを学生の協力会員が託児してくれました。フラワーアレンジを教えてくれた講師も協力会員です。交流会を通して、会員同士が顔見知りとなり、ファミサポをもっと身近に感じてもらえたらと思います。

